

もっと！ もち米プロジェクト

※
50

毎月10日は
「名寄もち米の日」

問い合わせ・申し込み先
名寄市食のモデル地域実行協議会
(農務課農政係・風連庁舎1階)
☎01655③2511 (内線2312)
ホームページ [名寄もっともち米](http://nayoro-mochigome.com/)
<http://nayoro-mochigome.com/>

名寄市はもち米生産日本一のまちです。もち米を市民の皆さまの誇りとし、子どもたちが自慢できるふるさとづくりを進めるために「もっと！もち米プロジェクト」を実施しています。

もち米サポーター養成塾スタート！

実際の農作業を体験し、名寄のもち米について学ぶ「もち米サポーター養成塾」がスタートしました。塾生は15人、塾長は名寄市もち米生産組合の及川友和副組合長です。今回は、4月20日(土)に行われた第1回のおようすをお伝えします。



乾燥させたもち米の“もみ”（たね）を触りながら、塾長の詳しい説明を聞きました。



機械を使い、ポットと呼ばれる専用のトレイに、もみと土を入れていきます。



ポットが並べられているハウスを見学しました。ハウス内が熱くなると芽が死んでしまうため、温度管理が大変だそうです。



JA道北なよるのもち米貯蔵施設を見学。雪の冷気を利用し、もち米を保管しています。大量に保管された雪を見た塾生たちからは歓声があがりました。

COLUMN*

VOL.24

なよるっぽい家づくりの会



「住まい」のことなら何でもご相談ください

名寄地方は、冬はとても寒く大雪に見舞われ、夏は猛暑にもなる厳しい自然環境の地域です。その中で「住まい」は、私たちの日常生活の基盤となる大切な場所です。

私たち「なよるっぽい家づくりの会」は、平成14年に名寄市内の建築に携わる13の会社・工務店で、このような「寒冷地向きの住宅」を、より多くの市民の皆さまに知っていただくとともに、「利用していただきたい」という目的でつくった会です。名寄地方の厳しい気候・風土でも快適に過ごせる「住まい」、維持経費の少ない「住まい」そして、いつまでも安心していただけるアフターケアのあり方を長い間研究してきました。

住宅の新築は、ほとんどの方にとって一生に一度のことです。そのため施工業者選びは特に重要です。住宅計画に際しては「工事」だけでなく、その後の長く続く「アフターケア」も同時に検討いただきたいと思います。

市内業者は、雪対策も十分考えた快適に暮らせる建築技術のほか、特に長く満足いただけるアフターケアの提供に努めており、地元の電気屋や設備屋と

も連携し、何か不具合が生じたときもすぐに駆け付けます。

また、新築・リフォームなどを市内業者に発注すると、その現場では地元の方に働く場が創出され多くの人(土木・大工・電気・塗装工事など)が雇用されます。そして、業者は市内で建築資材を調達・購入します。

このように、住宅産業は市内に大きな経済効果を創出します。

私たちは「なよるっぽい家づくりの会」を多くの方に知っていただくため、住まいに関する相談会の実施や各種イベントに参加するとともに、本紙面で、市民の皆さまに住宅に関する情報を提供しています。

これを機会に新築やリフォーム・住まいの悩み事などについて、ぜひ、私たちにご相談ください。

なよるっぽい家づくりの会 代表 松尾 薫

■問い合わせ なよるっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよる観光まちづくり協会内)
☎01654⑨6711